

令和6年度協働事業提案制度 公開中間ヒアリング

日時 令和6年10月27日（日）

午後1時10分～午後3時00分

会場 産業会館 4階 懇談室

13:10	〈 開 会 〉					
13:10	市民	里山保全・再生と活用 のモデル検討事業	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。	特定非営利活動法人 自遊クラブ	森林政策課	R4
13:30	市民	野生鳥獣被害の実態や 対策、生物の多様性を 周知する事業	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。	野生動物との共生の 会	緑区役所区政策課	R4
13:50	市民	「さがみん条例」の1 つのシンボルとなる相 模原市オリジナル教育 プログラム＝「シビッ クプライド向上ゲー ム」開発事業	現在、相模原市には、シビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムはなく、市の魅力を「パズルとクイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム（＝ゲーム）を開発する。	相模原市印刷広告協 同組合	シティプロモーショ ン戦略課	R4
14:10	休憩（10分）					
14:20	市民	「城山自然の家」を観 光ゲートとした城山エ リアでのe-bikeツ アーの造成	中山間地域への入口（ゲート）に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティビティ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題（二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど）の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。	城山観光協会	観光政策課 城山まちづくりセン ター	R4
14:40	市民	「ユニバーサルデザイ ン普及・啓発事業」	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。	特定非営利活動法人 ここずっと	地域包括ケア推進課	R5
15:00	〈 閉 会 〉					

主催 NPO法人市民フォーラムさがみはら 相模原市

公開中間ヒアリングについて

協働事業提案制度公開中間ヒアリングは、事業の進捗状況や協働の状況、成果を検証し、協働事業提案制度事業としての妥当性や継続性などについての評価を行い、次年度の継続を希望する事業の継続可否について審査を行うとともに、協働を学びあう場として開催します。

また、中間地点においてしっかりと双方が事業の振り返りを行う機会を持つことで、より質や効果の高い協働事業となることを期待しています。

公開中間ヒアリングに臨むにあたり、評価項目が18ある中間ヒアリング調書を実施団体と事業担当課がそれぞれ事前に作成しています。

それぞれが行ったa～dの評価を点数化し、各事業における実施団体と事業担当課の意識差を次ページに掲載しています。

こうして、意識に差がある部分は何かを明らかにすることにより、今後のより良い事業実施につなげていくことも、このヒアリングの目的としています。

また、実施団体と事業担当課が作成したヒアリング調書もあわせて掲載していますので、ヒアリングを聞く際の参考としてください。

4事業の自己評価数値および意識差

※自己評価数値について

a=4 → 肯定する(はい)(おおいに思う)

b=3 → どちらかと言えば肯定する(どちらかと言えば思う)

c=2 → どちらかと言えば否定する(どちらかと言えば思わない)

d=1 → 否定する(いいえ)(思わない)

NO. 1 里山保全・再生と活用のモデル検討事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
団体	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
行政	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	71
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 2 野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
団体	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
行政	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 3 「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
団体	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
行政	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	72
差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO. 4 「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
団体	3	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	62
行政	3	4	3	4	2	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	67
差	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	5

NO. 5 ユニバーサルデザイン普及・啓発事業

No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	合計
団体	3	3	3	3	3	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3	4	4	3	59
行政	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	3	55
差	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	0	4

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書




整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒		1			
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業					
団体の名称	特定非営利活動法人自遊クラブ					
事業担当課	森林政策課					
事業の概要	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	里山林の新たな保全と活用と市民啓発を進めるために、パートナー3団体が得意分野を発揮して幅広い取り組みを行う。 年度計画を確実に実施する。					
令和6年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何ですか。					
	<里山林の保全・再生> 自伐型林業のミニモデルを目指して移動路作設を延長し、伐採空地エリアでは早生広葉樹センダンのテスト育林を進める。 <里山林の環境活用> わくわく探検隊、森林浴リゾート、企業向け親子体験、企業向け体験、グリーンウッドワークを行う。 <里山林の木材活用> 丸太搬出利用を行う。					
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<里山林の保全・再生> 軽トラ移動路(約140m)を作設し協働事業目標はほぼ完了し、早生広葉樹センダンを直長に育てるための芽かき行った。 <里山林の環境活用> ワクワク探検隊(6/29)。森林浴リゾート(9/23)、グリーンウッドワーク(9/7)を行った。					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<里山林の環境活用> わくわく探検隊(10/6・11/16・12/21)。森林浴リゾート(11/11・1/26・3/3)、企業向け親子体験(2/8・23)、企業向け体験(10/28・11/17・12/18)、グリーンウッドワーク(10/20)を行う。 <里山林の木材活用> 丸太搬出利用(2月)を行う。					
9月末現在での事業達成度・・・(39)%程度						
成果をはかる指標 (年度予算の9月までの実施額) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 年間全体予算：4,249,000 半期実施額：1,637,000						
事業予算額	4,249 千円					
うち市負担金額	2,923 千円 (市負担割合 69 %)					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	3,693 千円	(当初提案時の金額 : 3,693 千円)
令和7年度 市負担金希望額	2,449 千円	(当初提案時の金額 : 2,585 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
	里山林活用事業(アクティビティ)は、協働事業協定後の実施と夏の暑い時期を避けたため、後半に集中した。アクティビティの募集に専用サイトを導入したが、募集人員不足で開催時期をずらしたものがあつた。(わくわく探検検体)				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
	協働事業のテーマは「さがみはら森林ビジョン」にもあり、多くの市民も課題と感じているもので、その多様な対策事例のひとつになると考えて取り組んでいる。				

C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい  いいえ								
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 相模原市と3団体は、得意分野を発揮して幅広い活動が来ている。									
D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい  いいえ								
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
a	b	c	d							
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 相模原市と3団体は、共通の問題意識を持って協力して取り組んでいる。									
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい  いいえ								
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	a	b	c	d						
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
昨年度から3年間、パートナーの1団体に市から依頼されることになった「里山体験講座」にも3団体協力して実施している、その参加者との関わりも含めて、3団体の活動がさらに広がっている。										
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	<table border="1"> <tr> <td>a</td> <td>b</td> <td>c</td> <td>d</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	a	b	c	d	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	a	b	c	d						
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>							
里山林の課題とその対策は幅広く人財と資金も必要なので、行政・民間団体など多様な主体が関わって取り組む必要があると考える。										

18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。（互いの経費負担も含む）	a	b	c	d
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	市と3団体は得意分野を発揮する協働になっていて、役割分担は適切と考える。市には資金と広報の一部を分担してもらっている。				

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。
	<p>市と3団体は協働事業でそれぞれの得意分野の事業を進めるだけではなく、関連する事業の展開も積極的に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自遊クラブ：道づくり講習会(2月予定)、生物多様性の取組み、広葉樹丸太の提供、植林 ・ヘリテッジキーパー：市委託事業〔里山体験講座〕運営、市委託事業〔ワーケーション推進事業〕、企業とのタイアップ ・さがみ湖森・モノづくり研究所：森林環境教育の取組み(埼玉フィンランド協会連携)

20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。
	<p><ワクワク探検隊></p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性(30歳代子連れ)「森の中で木々の香りや、鳥の囀りに癒されながら、貴重な体験をさせてもらえて、とても楽しめました！子どももワクワクする体験ができて、家に帰った後出来上がったTシャツを自慢げに家族に見せていました^^草木染めの説明の中で、その時にしかできない色、世界で一つだけ、という言葉が印象的で出来上がったTシャツも大切にしていきたいなと思いました！大学生の方々もとてもしっかりしていて親切でした。また他のイベントにも参加したいなと思っています。ありがとうございました」 ・女性(30歳代)「自然豊かな森での草木染め、葉っぱを集めてちぎり、煮る。自然長閑なところでしかできない体験だと思います！Tシャツは完全オリジナル！色も集める葉によって色が変わり、柄も完成像はできるまでのお楽しみ。大人も子どもも全力で楽しめます！遠くに行かずとも神奈川県内でできてしまうのが素晴らしい。みなさん優しい方ばかりで終始楽しむことができました。貴重な経験をありがとうございました！」 <p><企業向け森林体験></p> <p>「森の保全と活用体験」とし、地域の環境保全に関心の高い企業に、座学「森林概論」、伐採体験とキノコのホダ木作り、マウンテンバイクや焚き火などを体験していただいた。「貴重な体験をさせていただき、とても楽しく有意義な時間を過ごせたので、ぜひ今後も健康経営の一環として利用させていただきたい」「地域の歴史、森林浴と健康の関係、企業の離職率など興味深い内容でした。今後に向けて具体的な利用方法など弊社人事担当にも相談して進めていきたいと思います」「従業員が地元に住んでいる方が多いので、自然に触れたり畑作業をする方も多いですが、都会の会社の方向けだとそういう機会を持てる事はとても有意義だと思います。」「法人会員があると良い」などの感想をいただいた。</p> <p><個人向けの森林浴と里山リトリート></p> <p>「役割を手放せた」「自然に癒された」「魂が浄化された」「感じることを楽しめた」「久しぶりにリラックスできた」「頭からなかなか離れない仕事の考え事などが、ほぐされてスッキリした」「五感が研ぎ澄まされた」「地元の良さを知った。地元っていいなと思った」などの感想をいただいた。</p> <p><グリーンウッドワーク></p> <ul style="list-style-type: none"> ・男性(40歳代)「現地の里山の樹木の説明が実際の観察を通して学べて、座学には無い有意義な内容でした。実際の木作業も手順や道具も至れり尽くせりのアシストで初心者の方でも十分に満足できる内容だったと思います。」 ・女性(50歳代)「樹木観察、生木を切り出した木材でシンプルな鍋敷き作り、美味しい昼食、いずれも大満足でした。つちざわの森の中には沢山の種類の木々が育っており、丁寧にそれらの特性や見分け方などをお話していただけました。観察や木工を通して里山保全は人の力も必要なこと、たとえシンプルな作りの鍋敷も出来上がるまでそれなりの時間を要することから、昔の方は根気よく道具等を手作りし、大切に扱って来たことを実感・再確認することが出来ました。単に観察、木工だけではなく、人が自然に関わるということがいかに大切なことかを感じた1日でした。」 ・男性(60歳代)「新宿から1時間(空いていれば)の森でこんなにたくさんのことが学べると思っていなかったのが勉強になった。今まで森の木はだいたい同じものと思っていたが、実に多様でその森の成り立ちや、木々の種類、森の命など新鮮な学びがあった。また木工では普段使わない刃物を安全に楽しく使用でき、木工の楽しさと同時に「道具」の大切さや奥深さを感じることができました。」 ・女性(40歳代)「とても良い雰囲気講座と美味しいお昼ごはんで大満足です。森の中で1日過ごし、癒されました。自然散策では、樹木の見分け方や森の管理について分かりやすく説明していただき、とても興味深く学びがたくさんありました。森を散策した後、木々に囲まれて瑞々しい生木を削りましたが、木工をやったことがなくても、講師の方が優しく教えてくれるので安心です。グリーンウッドワーク経験者でも、森を観察した後に、実際に森に生えている木を数種類削ることが出来たので新たな発見があり、よい体験が出来ると思います。」

21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・市の里山体験講座の運営と受講者連携の広がり ・市内企業との森づくりタイアップ ・団体メンバーの増員と事業の広がり ・他団体連携の広がり
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <hr/> <p>3年目なので、一定の事業成果を出したい。 通常事業に実装するために、より効果的で成果の出る事業に絞っていく。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →		1			
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業					
団体の名称	特定非営利活動法人自遊クラブ					
事業担当課	森林政策課					
事業の概要	森林面積が6割の相模原市には、街に接する里山林が多数あるが、その活用が不十分のため、手入れや再生が行き届かない里山林が多い。そのために、里山林の積極的な活用を通して、その保全と再生を図る。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	里山林の新たな保全と活用と市民啓発を進めるために、パートナー3団体が得意分野を発揮して幅広い取り組みを行う。 年度計画を確実に実施する。					
令和6年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。					
	<里山林の保全・再生> 自伐型林業のミニモデルを目指して移動路作設を延長し、伐採空地エリアでは早生広葉樹センダンのテスト育林を進める。 <里山林の環境活用> わくわく探検隊、森林浴リトリート、企業向け親子体験、企業向け体験、グリーンウッドワークを行う。 <里山林の木材活用> 丸太搬出利用を行う。					
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	<里山林の保全・再生> 軽トラ移動路(約140m)を作設し協働事業目標はほぼ完了し、早生広葉樹センダンを直長に育てるための芽かきを行った。 <里山林の環境活用> ワクワク探検隊(6/29)。森林浴リトリート(9/23)、グリーンウッドワーク(8/4,9/7)を行った。					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	<里山林の環境活用> わくわく探検隊(10/6・11/16・12/21)。森林浴リトリート(11/11・1/26・3/3)、企業向け親子体験(2/8・23)、企業向け体験(10/28・11/17・12/18)、グリーンウッドワーク(10/20)を行う。 <里山林の木材活用> 丸太搬出利用(2月)を行う。					
9月末現在での事業達成度 ・ ・ ・ (39) %程度						
成果をはかる指標 (年度予算の9月までの実施額) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 年間全体予算：4,249,000 半期実施額 : 1,637,000						
事業予算額	4,249 千円					
うち市負担金額	2,923 千円 (市負担割合 69 %)					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	3,693 千円	(当初提案時の金額 :	3,693 千円)
令和7年度 市負担金希望額	2,449 千円	(当初提案時の金額 :	2,585 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	里山保全・再生と活用のモデル検討事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)			
	里山林活用事業(アクティビティ)は、参加者やスタッフの体調を考慮し、夏の暑い時期を避け実施することとなった。			
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)			

C：協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
D：協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。)				
E：自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	昨年度に続き、市が実施する中山間地域対策事業のコミュニティビジネスの研修にも協力いただいている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	本事業は、地権者、民間団体及び行政が連携した取組が必要と考えている。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	役割分担は適正と考えている。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>イベントについて、市広報紙の掲載とPRTIMES(プレスリリース)を活用し、広く参加者の募集を行っている。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>実際に森の中のイベントに参加することで、森の楽しさや必要性を知ることができた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。</p> <p>森林活用に興味のある方をつちざわの森へ案内し、アドバイスなどいただくことができた。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>事業継続できるよう協力いただける企業や人材確保に努めてください。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書




整理番号	右のリストから番号を入力してください →	3
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和4年度採択 今年度が 2 年目
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業	
団体の名称	野生動物との共生の会	
事業担当課	緑区役所区政策課	
事業の概要	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。	
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>野生動物の捕獲の必要性、生物多様性や適正管理、野生動物の命の尊厳や肉や皮の利活用などを学ぶ機会を提供しながら、野生動物と人間との共生の在り方について、相模原市民の身近な課題として、地域と一緒に考えていくこと。残りの実施期間で計画通りの体験者数に達するよう努め、来年度に向けた課題分析を行う。</p>	
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. パネルを使用した説明と革小物づくり体験の実施 パネル1枚目：農作物の被害状況 パネル2枚目：農作物の被害に対する取り組みや対策 パネル3枚目：狩猟とは？有害鳥獣とは？ パネル4枚目：肉や皮(生物資源)の利活用方法 パネル5枚目：「野生動物との共生の会」の活動 パネル6枚目：シカ・イノシシ捕獲マップ 獣見たよMAPの掲示</p>	
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。	
	7月イオン古淵店(南区)1回開催、8月Morimori(緑区)1回開催、アリオ橋本店(緑区)4回開催、相模原市立博物館(中央区)1回開催、10月相模湖ふれあい広場(緑区)1回開催 パネル7枚を使用し、農作物への有害鳥獣による被害状況やその対策について説明すると共に、革小物づくり体験を通して、肉や皮の有効活用方法や人間と野生動物との共生の在り方について市民と共に考える場を提供した。	
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>来年度に向けた課題や改善点を考える。より分かり易く説明するため、パネルの修正や内容を吟味する。</p>	
	9月末現在での事業達成度 ・ ・ ・ (99) %程度	
	<p>成果をはかる指標(体験者数の達成率と市民の理解促進程度)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>パネル掲示・説明と革小物づくり体験の計画(100名×8回=800名)の内、9月末時点で797名の市民に学習・体験をしてもらった。</p>	
事業予算額	926 千円	
うち市負担金額	743 千円 (市負担割合 80 %)	

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	859 千円	(当初提案時の金額 :	859 千円)
令和7年度 市負担金希望額	613 千円	(当初提案時の金額 :	613 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 行政側と団体側で、お互いの役割を明確にしてそれぞれが責任を持って行えた。				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 体験者の行列ができるほどの賑わいを見せ、有意義な内容になっていると判断できる。革小物自体は決して安いものではないが、自らものづくりをすることで、すぐに捨てられてしまうものではなく大事にされるものとなり、費用に見合った学習と体験をしてもらえていると思われる。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 行政では市民に伝えづらいこと(動物捕獲など命に関わる繊細で慎重にならざるを得ないこと)についても、団体として市民に丁寧に説明することができた。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 パネルの制作にあたり、内容についてやり取りを繰り返し、充実した内容に仕上げることができた。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。 多くの市民の方に知られていないこと(農作物の被害状況や対策など)を学んでもらい、興味を持ってもらえたことは非常に価値のあることと思われる。また、革小物づくり体験では、実際に革に触れ楽しんで貰いながら、命について考えるきっかけや、野生動物と人間のとの共生のあり方を考えてもらえる場の提供ができ、非常に有意義な活動であった。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。 当団体だけの活動では開催場所の確保が難しかったが、市との協働事業であることで、多くの市民に学習・体験いただける場所を得られた。また、パネルの内容を鳥獣対策班の専門の方にご教授いただけ、内容に対して信ぴょう性の担保を得られ、かつ当団体の偏りのない客観性を持った内容に仕上げることができた。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>

18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなってると思いますか。（互いの経費負担も含む）	a	b	c	d
	鳥獣対策班の持つ専門知識や正確な情報を、当会が市民の方に説明するという、それぞれの役割を明確にし実行できた。革の原料に予算が必要であったが、市に大半を負担いただいたことにより、自己負担のみでは難しかったワークショップを行えた。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F：その他 （以下は必要に応じてお書きください。）					
19	事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。				
	パネルの字を読むことができない子供の体験者やパネルに目を通していない大人の体験者には、革小物づくり体験の前に、「この革は相模原市内で捕獲されたシカやイノシシであること」、「革は動物の命の一部であること」、「農作物被害を減らすために野生動物を捕獲する必要があること」、「捕獲された野生動物の肉や皮を利活用すべきこと」などを、丁寧に一人ずつ説明したこと。				
20	実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。				
	革小物を自分の手で作った子供たちからは、自分で作れて楽しかったと多くの意見をいただいた。興味深かった、楽しかった、知らないことばかりだった、勉強になった、これからも頑張る、などの声をいただいている。				
21	事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。				
	緑区内の小中学校で、体験学習を請け負うことになった。				
22	次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。				
	次年度も開催場所の確保においてお力をお貸しいただきたい。また、より分かり易く正確なパネル作成のため、新しいデータ(市内の捕獲数など)をご提供いただきたい。その他、実施方法や内容などご意見をいただきたい。				
その他					

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →			3		
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	2	年目
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業					
団体の名称	野生動物との共生の会					
事業担当課	緑区役所区政策課					
事業の概要	鹿や猪は農作物を荒らすとして有害獣として扱われるが、野生動物の命の尊厳を守り、野生動物と人間との共生の在り方について市民と共に考える場を作り、生物多様性の保全と理解を促進する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>野生動物の捕獲の必要性、生物多様性や適正管理、野生動物の命の尊厳や肉や皮の利活用などを学ぶ機会を提供しながら、野生動物と人間との共生の在り方について、相模原市民の身近な課題として、地域と一緒に考えていくこと。残りの実施期間で計画通りの体験者数に達するよう努め、来年度に向けた課題分析を行う。</p>					
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. パネルを使用した説明と革小物づくり体験の実施 パネル1枚目：農作物の被害状況 パネル2枚目：農作物の被害に対する取り組みや対策 パネル3枚目：狩猟とは？有害鳥獣とは？ パネル4枚目：肉や皮（生物資源）の利活用方法 パネル5枚目：「野生動物との共生の会」の活動 パネル6枚目：シカ・イノシシ捕獲マップ 獣見たよMAPの掲示</p>					
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。					
	7月イオン古淵店(南区)1回開催、8月Morimori(緑区)1回開催、アリオ橋本店(緑区)4回開催、相模原市立博物館(中央区)1回開催、10月相模湖ふれあい広場(緑区)1回開催 パネル7枚を使用し、農作物への有害鳥獣による被害状況やその対策について説明すると共に、革小物づくり体験を通して、肉や皮の有効活用方法や人間と野生動物との共生の在り方について市民と共に考える場を提供した。					
	残り半年間で実施する予定のことは何ですか。					
	来年度に向けた課題や改善点を考える。より分かり易く説明するため、パネルの修正や内容を吟味する。					
9月末現在での事業達成度 ・ ・ ・ (99) %程度						
<p>成果をはかる指標（体験者数の達成率と市民の理解促進程度）</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p> <p>パネル掲示・説明と革小物づくり体験の計画（100名×8回＝800名）の内、9月末時点で797名の市民に学習・体験をしてもらった。</p>						
事業予算額	926 千円					
うち市負担金額	743 千円 (市負担割合 80 %)					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	859 千円	(当初提案時の金額 :	859 千円)
令和7年度 市負担金希望額	613 千円	(当初提案時の金額 :	613 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	野生鳥獣被害の実態や対策、生物の多様性を周知する事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 事業開催において、随時報告を受け、情報を共有しながら、役割を明確にして事業を行うことができた。			
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 団体のノウハウを事業に生かすことができた。			

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 団体と協働事業を行うことで、新たに情報発信の方法を創出できた。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 事業を行うにあたり、役割分担を理解し、情報を共有することで充実した事業が行えた。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	パネルを使用して有害鳥獣による被害状況やその対策について説明し、革小物づくり体験を通して肉や皮の有効活用方法や野生動物との共生のあり方について、市民とともに考える場の提供ができた。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思えますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	団体と協働することで、団体のノウハウを生かし、野生鳥獣の被害の実態を周知することで市の取り組む被害対策についての理解促進を深めることができた。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	経費の額や負担割については、今後事業を継続するにあたり、受益者負担を増額するなど、財源を増やす必要がある。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒	2
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和4年度採択 今年度が 2 年目
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業	
団体の名称	相模原市印刷広告協同組合	
事業担当課	シティプロモーション戦略課	
事業の概要	相模原市にはシビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムがこれまでなかったことから、市の魅力を「パズル」と「クイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム(＝ゲーム)を開発する。	
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>出前授業の参加者が作成したオリジナルのクイズを専用サイト(さがみん情報局)に投稿することで、「シビックプライド向上ゲーム」により発見した相模原市の魅力を他の参加者と共有してもらい、さらなるシビックプライドの向上につなげていく。</p>	
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>「シビックプライド向上ゲーム」出前授業の実施。</p>	
令和6年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合が「シビックプライド向上ゲーム」の出前授業を実施した。なお、その周知については市が行った。</p> <p>出前授業については、9月末時点で11団体(455名)に実施しており、10月以降についても4団体での実施を予定している。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合は、引き続き、出前授業の実施を行い、実施をする上での問題点・改善点などを把握し、それらについては、令和7年度以降の出前授業に生かしていきたいと考える。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(75) %程度</p> <p>成果をはかる指標(出前授業の実施回数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等(参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度予定している出前授業の回数: 15回 ・すでに実施している出前授業の回数: 11回 (団体構成: 小学校6、児童クラブ2、自治会・高齢者クラブ2、学習塾1) 	
事業予算額	55 千円	
うち市負担金額	44 千円 (市負担割合 80 %)	

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	100 千円	(当初提案時の金額 :	100 千円)
令和7年度 市負担金希望額	70 千円	(当初提案時の金額 :	70 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 令和4年度に策定した「シビックプライド向上計画」において、シビックプライドを向上させるためには、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、市と一緒に魅力発信していくことが重要であるとしているが、「シビックプライド向上ゲーム」は市の魅力を探し、その中で見つけた魅力をクイズにして遊ぶものであることから、「シビックプライド向上計画」の趣旨に合致していると考えられる。				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 小学校6件、公民館・自治会(サロン)・団体5件、児童クラブ・塾3件、イベント1件と小学生、中学生、親子、成人、青少年指導委員とさまざまなケースで約600名の申込みがあり、さらに満足率80%を越え、市民ニーズにあっていることが実証できたと考えられる。 また、実施後、新たな課題が生じた際も、ミーティングにて情報共有を図りつつ、互いの立場や得意分野を理解し、役割分担することができた。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>小学校や公民館などでの継続的な出前授業を通して「シビックプライド向上ゲーム」が普及すれば、さらなるシビックプライドの向上が期待できると考える。</p>				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>新たな課題が生じた際も、ミーティングにて情報共有を図りつつ、互いの立場や得意分野を理解し、役割分担することができた。</p>				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	シビックプライド向上計画において、行政だけで行うものではなく、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、さらなる市の魅力の発掘と向上を図りながら、協働で市の魅力を発信していくことが必要であると定めているが、今回の『シビックプライド向上ゲーム開発事業』はまさにその趣旨に合致したものであり、非常に意味のあるものであると感じている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	意見交換をすることにより、新たなアイデアが生まれることができ、今後の事業展開に生かせる。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	適切である。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>市内の小中学生だけでなく、すでに相模原市に長く住んでいる高齢者に対してもシビックプライド向上ゲームを知ってもらうため、学校だけでなく各自治会にもチラシの掲示を依頼した。 メディアにおいても相模原市について取り上げていただけるよう、情報提供を行った。(放映・掲載実績: J:COM、タウンニュース)</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>出前授業については、小学4年生以上の方に参加していただいたが、出前授業後に実施したアンケートにおいて、参加者の8割以上から、「楽しかった」及び「相模原のことをもっと知りたくなった・少し知りたくなった」との回答があり、好評であった。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。</p> <p>クイズカード作成の過程で、ゲーム参加者が本市の魅力に触れることは、さらなるシビックプライドの向上に寄与する。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>今後も情報共有を密にし、事業に取り組んでいきたい。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書




整理番号	右のリストから番号を入力してください →			2		
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民	<input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和4年度採択	今年度が	2 年目
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業					
団体の名称	相模原市印刷広告協同組合					
事業担当課	シティプロモーション戦略課					
事業の概要	相模原市にはシビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムがこれまでなかったことから、市の魅力を「パズル」と「クイズカード」で遊びながら学べ、シビックプライドを涵養する教育プログラム(＝ゲーム)を開発する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>出前授業の参加者が作成したオリジナルのクイズを専用サイト(さがみん情報局)に投稿することで、「シビックプライド向上ゲーム」により発見した相模原市の魅力を他の参加者と共有してもらい、さらなるシビックプライドの向上につなげていくこと。</p> <p>相模原市の魅力をより多くの方に発見・共有していただくため、市は引き続き「シビックプライド向上ゲーム」についての周知に努めていく必要があると認識している。</p>					
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合が「シビックプライド向上ゲーム」の出前授業を実施し、市は「シビックプライド向上ゲーム」の出前授業実施について周知を行う。</p>					
令和6年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合が「シビックプライド向上ゲーム」の出前授業を実施し、市は「シビックプライド向上ゲーム」の出前授業実施について周知を行う。</p> <p>出前授業については、9月末時点で11団体に実施しており、10月以降についても4団体での実施を予定している。出前授業の実施にあたり、行政は出前授業の周知を行ったが、具体的には、メディア及び議会への情報提供、市内公共施設及び市立小中・義務教育学校へのチラシ配架、及びe-ネットSAGAMIを通じた各学校への出前授業の案内を行った。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>相模原市印刷広告協同組合は、引き続き、出前授業の実施を行い、実施をする上での問題点・改善点などを把握し、それらについては、令和7年度以降の出前授業に生かしていきたいと考える。</p> <p>また、行政としては、引き続き「シビックプライド向上ゲーム」の周知に努める。具体的には、さがみはらシティプロモーションサイト「さがみはらむすび」や市公式SNSによる周知を行い、デジタルな手段により情報を収集する層にアプローチすることにより、幅広い層にシビックプライド向上ゲームの出前授業への参加を促していく。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・(75) %程度</p> <p>成果をはかる指標(出前授業の実施回数)</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等 (参考)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度予定している出前授業の回数: 15回 ・すでに実施している出前授業の回数: 11回 <p>(団体構成: 小学校6、児童クラブ2、自治会・高齢者クラブ2、学習塾1)</p>					
事業予算額	55 千円					
うち市負担金額	44 千円 (市負担割合 80 %)					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	100 千円	(当初提案時の金額 : 100 千円)
令和7年度 市負担金希望額	70 千円	(当初提案時の金額 : 70 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	「さがみん条例」の1つのシンボルとなる相模原市オリジナル教育プログラム＝「シビックプライド向上ゲーム」開発事業	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 令和4年度に策定した「シビックプライド向上計画」において、シビックプライドを向上させるためには、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、市と一緒に魅力発信していくことが重要であるとしているが、「シビックプライド向上ゲーム」は市の魅力を探し、その中で見つけた魅力をクイズにして遊ぶものであることから、「シビックプライド向上計画」の趣旨に合致していると考えられる。			
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。 「シビックプライド向上計画」において、シビックプライドを向上させるためには、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、市と一緒に魅力発信していくことが重要であるとしているなか、相模原市にはシビックプライドを醸成するための代表的な教育プログラムがこれまでなかったため、本事業へのニーズがあるといえる。			

C : 協働したことの効果		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>小学校や公民館などでの継続的な出前授業を通して「シビックプライド向上ゲーム」が普及すれば、さらなるシビックプライドの向上が期待できると考える。</p>				
D : 協働の関係性		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) <p>新たな課題が生じた際も、ミーティングにて情報共有を図りつつ、互いの立場や得意分野を理解し、役割分担することができた。</p>				
E : 自己評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	シビックプライド向上計画において、行政だけで行うものではなく、「相模原市と関わりのあるみんな」が市の魅力を認知し、さらなる市の魅力の発掘と向上を図りながら、協働で市の魅力を発信していくことが必要であると定めているが、今回の『シビックプライド向上ゲーム開発事業』はまさにその趣旨に合致した者であり、非常に意味のあるものであると感じている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	団体と意見交換をすることにより、新たなアイデアが生まれることができ、今後の事業展開に生かせる。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	適切である。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

市内の小中学生だけでなく、すでに相模原市に長く住んでいる高齢者に対してもシビックプライド向上ゲームを知ってもらうため、学校だけでなく各自治会にもチラシの掲示を依頼した。
メディアにおいても相模原市について取り上げていただけるよう、情報提供を行った。(放映・掲載実績: J:COM、タウンニュース)

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

出前授業については、小学4年生以上の方に参加していただいたが、出前授業後に実施したアンケートにおいて、参加者の8割以上から、「楽しかった」及び「相模原のことをもっと知りたくなった・少し知りたくなった」との回答があり、好評であった。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと(つなげたいこと)があればお書きください。

クイズカード作成の過程で、ゲーム参加者が本市の魅力に触れることは、さらなるシビックプライドの向上に寄与する。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

今後も情報共有を密にし、事業に取り組んでいきたい。

その他

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒	4
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和4年度採択 今年度が 2 年目
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成	
団体の名称	城山観光協会	
事業担当課	観光政策課 城山まちづくりセンター	
事業の概要	中山間地域への入口(ゲート)に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティビティ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題(二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど)の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。	
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>【城山自然の家の有効活用とe-bikeを活用したツアー造成を契機とした城山エリアの振興】</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・①観光案内所としての機能の充実 ②地場産野菜やお土産品の販売 ③各種媒体を利用しPR活動を推進 ④e-bikeツアーの事務処理を行う。</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・①持続可能なツアー手法の検討(担い手のガイドスキル習得、商品内容・価格決定) ②地域資源の体験コンテンツ化(e-bikeと組み合わせた地域資源の磨き上げ) ③地域への波及効果(ツアー前後の立ち寄りなどによる消費効果を創出)</p>	
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何か。</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①「城山自然の家」への訪問客の拡大②大型モニターの設置によるPR動画の放映③観光客用遊歩道用大型マップの作製④地場産野菜やお土産品の販売拡大⑤案内所内のインフラ整備(パソコン、コピー機)⑥「e-bike ツアー」事務作業</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・4月～9月:①検討部会メンバーによるモニターツアーの決定(内容、コース、時期、価格、申し込み方法、広報活動ツアーガイドの養成等) ②委託業者の決定と見積もり ③委託業者との契約 ④城山観光協会(e-bike検討部会・法政大学生)、行政(相模原市観光政策課、城山まちづくりセンター)および委託業者(株あさひ)との協働事業の確認と定期会議を実施 10月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、12月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、3月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)</p> <p>3. 1. 2の共通の取り組み・・・4月～3月:地域情報誌、城山観光協会のHP、タウンニュース、フェイスブック、(株)あさひの広報紙等を活用し広くPR活動を展開する。</p>	
令和6年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①大型モニターの設置によるPR動画の放映②観光客用遊歩道用マップの作製③地場産野菜やお土産品の販売拡大④「城山自然の家」内のインフラ整備(パソコン、コピー機)⑤「e-bikeツアー」事務作業</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・4月～9月:①検討部会メンバーによるモニターツアーの決定(内容、コース、時期、価格、申し込み方法、広報活動、ガイドの養成等) ②委託業者の決定と見積もり ③城山観光協会(e-bike検討部会・法政大学生)、行政(相模原市観光政策課、城山まちづくりセンター)および委託業者(株あさひ)との3社による協働事業の確認と定期会議を実施。 ※9月に計画していたモニターツアーは(株)あさひが極暑中のツアーは禁止されているとのことから下期開催に変更した。</p> <p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①観光客用遊歩道大型マップの作製②地場産野菜やお土産品の販売拡大③椎茸の販売による収益の確保④「e-bikeツアー」の事務作業</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・①e-bikeツアー検討部会の毎月の定期開催②10月:e-bikeガイド養成講座の開催 ③11月:モニターツアー前のツアーガイド候補によるコースの試乗会実施④モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、3月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)</p> <p>3. 1. 2の共通の取り組み・・・4月～3月:地域情報誌、観光協会のHP、タウンニュース、フェイスブック、(株)あさひの広報紙等を活用し広くPR活動を展開する。</p> <p>9月末現在での事業達成度・・・40%程度</p> <p>1. 「城山自然の家」・・・来場者が4～7月で846人(昨年は0人)と期待以上であった。また野菜等の販売は、知名度が徐々に上がってきていることから今年度の販売予算は達成できそうである。</p> <p>2. 「e-bikeツアー」・・・4～8月はモニターツアーの内容、コース、時期、参加費、広報を検討。 ※9月のモニターツアーを計画したが、(株)あさひが猛暑の関係で9月までのツアーは会社として禁止されたとのことから、上期におけるモニターツアーを実施することが出来なかった。</p>	




事業予算額	2,426 千円
うち市負担金額	1,941 千円 (市負担割合 80 %)

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	2,804 千円	2,192 千円)
令和7年度 市負担金希望額	1,990 千円 (当初提案時の金額 :	1,534 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 相模原市観光政策課、城山まちづくりセンターの引き続き支援と協力があつたが、自転車メーカーの(株)あさひは積極的に協力してくれた昨年のツアー担当者が代わり、また会社の方針も代わったとのことから昨年並みの協力を得ることが難しくなったと感じる。このことから下期はe-bikeツアーガイド養成講座を開催し自立を早めて行きたい。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) e-bikeツアーは県下でも実施例が少なく、どれだけのニーズが有るのか不安なところは有る。しかし城山地区及び近隣地域は魅力ある観光スポットが多いが、車を除くとそこまでの交通手段が脆弱である。このようなことから観光を点から線につなぐ手段としてのe-bikeのニーズはあると考える。ただe-bikeは高価なためツアーでレンタルする費用への負担が大きい。その負担軽減のためにも相模原市が1台でも2台でもe-bikeを購入するための補助をお願いしたい。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a	b	c	d
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 相模原市観光政策課及び城山まちづくりセンターと協働したことにより、事業のアドバイス、関係機関や(株)あさひとの調整そして広報活動等全面的に協力をいただいている。ただe-bikeツアーは全国的に見ても実施例が少ないことから、事業の採算性がある事業となりえるかどうかは不明であるが、近隣地区も巻き込み、顧客ニーズや斬新的なアイデアを取り入れ事業化出来るよう全力を尽くす。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 上記12～15において全て良好で満足した結果となっている。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
16	事業の必要性：事業をやって良かったと思いますか。	a	b	c	d
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いませんか。 以下の点から本事業は協働事業として必要と考える。 ①城山地区には観光者を目的とした観光案内所、地場産品販売所が無く、その両方を兼ねた「城山自然の家」の活用が望まれている。 ②城山地区の山間地域における新たな観光目的として有効である「e-bikeツアー」が観光の目玉として有効である。③「e-bikeツアー」により観光スポットへの移動が点から線になり「城山自然の家」がその案内と運営の中心となりえると考え。	a	b	c	d
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものになってると思いますか。(互いの経費負担も含む) 役割分担は適切なもので、それ以上の支援をいただいているかもしれない。経費負担の面から言うと、財政が脆弱な城山観光協会に取って、本事業における経費負担が大きすぎる。	a	b	c	d

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>○城山自然の家・・・地元農家さんからの農作物に加え、地元サークル活動で作った手作りの手芸品の販売も今年度から開始した、又10月から肉厚が厚く、大きくて一級品の椎茸販売を開始し好評である。今年は城山自然の家への訪問が大幅に増えている。</p> <p>○bikeツアー・・・ツアーのツーリングを空から撮影のためドローン使い撮影し、地上での撮影も加えプロモーション用動画を製作し参加者募集に活用した。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>昨年度は法政大学多摩キャンパスの地域連携プロジェクト「城山フレンズ」にe-bikeモニターツアーの運営及び動画制作等で協力いただいた。今年度はプロジェクトメンバーが10名から45名に増え、一層多方面に渡り協力をいただいている。また地域連携プロジェクトをまとめているソーシャルノベーションセンターのセンター長とコーディネーターは「e-bikeツアー検討部会」のメンバーとして本事業に参画していただいている。</p>
	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>多大なる協力、サポートをいただきありがとうございます。。引き続き支援を宜しく願います。</p>
その他	<p>現在進めているe-bike ツアーは市民協働事業の期間中は市からの補助金があるため運営上問題ないが、e-bikeは高価なため自前で購入は難しく、その為協働事業終了後のレンタル費負担が気になるところである。このことから相模原市からは一部の駅にサイクルステーションを設置して自転車によるツーリングの普及活動を進めているが、二次交通が脆弱なこの城山地区(広くは近隣地区にも)にはe-bikeステーションの設置を希望します。これ等のe-bikeはツアーではなく自由にツーリングしたい人のためのものであるが、ツアーの時は借用して使用する事により、e-bikeの有効活用が可能である。また-bikeの受付や管理は観光協会が行う事は可能である。</p>

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください →	4
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型 令和4年度採択 今年度が 2 年目
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成	
団体の名称	城山観光協会	
事業担当課	観光政策課 城山まちづくりセンター	
事業の概要	中山間地域への入口(ゲート)に位置する「城山自然の家」を観光ゲートとし、相模原市緑区の城山エリアにおける特徴的な観光である自然散策をe-bikeツアーと組み合わせることでアクティビティ要素を加えた体験型観光に昇華し、当該エリアが抱えている課題(二次交通、来訪者属性の偏り、認知度の低さ、観光資源の未成熟さなど)の解決を図る目玉コンテンツとして造成する。	
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。 1. 「城山自然の家」・・・①観光案内所としての機能の充実 ②地場産野菜やお土産品の販売 ③各種媒体を利用しPR活動を推進 ④e-bikeツアーの事務処理を行う。 2. 「e-bikeツアー」・・・①持続可能なツアー手法の検討(担い手のガイドスキル習得、商品内容・価格決定) ②地域資源の体験コンテンツ化(e-bikeと組み合わせた地域資源の磨き上げ) ③地域への波及効果(ツアー前後の立ち寄りなどによる消費効果を創出)	
令和6年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。 1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①「城山自然の家」への訪問客の拡大②大型モニターの設置によるPR動画の放映③観光客用遊歩道用大型マップの作製④地場産野菜やお土産品の販売拡大⑤案内所内のインフラ整備(パソコン、コピー機)⑥「e-bike ツアー」事務作業 2. 「e-bikeツアー」・・・4月～9月:①検討部会メンバーによるモニターツアーの決定(内容、コース、時期、価格、申し込み方法、広報活動ツアーガイドの養成等) ②委託業者の決定と見積もり ③委託業者との契約 ④城山観光協会(e-bike検討部会・法政大学生)、行政(相模原市観光政策課、城山まちづくりセンター)および委託業者(株あさひ)との協働事業の確認と定期会議を実施 10月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、12月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、3月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回) 3. 1. 2の共通の取り組み・・・4月～3月:地域情報誌、城山観光協会のHP、タウンニュース、フェイスブック、(株)あさひの広報紙等を活用し広くPR活動を展開する。	
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何ですか。 1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①大型モニターの設置によるPR動画の放映②観光客用遊歩道用マップの作製③地場産野菜やお土産品の販売拡大④「城山自然の家」内のインフラ整備(パソコン、コピー機)⑤「e-bikeツアー」事務作業 2. 「e-bikeツアー」・・・4月～9月:①検討部会メンバーによるモニターツアーの決定(内容、コース、時期、価格、申し込み方法、広報活動、ガイドの養成等) ②委託業者の決定と見積もり ③城山観光協会(e-bike検討部会・法政大学生)、行政(相模原市観光政策課、城山まちづくりセンター)および委託業者(株あさひ)との3社による協働事業の確認と定期会議を実施。 ※9月に計画していたモニターツアーは猛暑による熱中症を防ぐため、下期開催に変更した。 残り半年間で実施する予定のことは何ですか。 1. 「城山自然の家」・・・「城山自然の家」の有効活用:①観光客用遊歩道大型マップの作製②地場産野菜やお土産品の販売拡大③椎茸の販売による収益の確保④「e-bikeツアー」の事務作業 2. 「e-bikeツアー」・・・①e-bikeツアー検討部会の毎月の定期開催②10月:e-bikeガイド養成講座の開催 ③11月:モニターツアーに向けた地域のガイド候補者による実走研修④モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回)、3月:モニターツアー2回実施(午前1回、午後1回) 3. 1. 2の共通の取り組み・・・4月～3月:地域情報誌、観光協会のHP、タウンニュース、フェイスブック、(株)あさひの広報紙等を活用し広くPR活動を展開する。	
	9月末現在での事業達成度・・・(40) %程度	
	成果をはかる指標 () 1. 「城山自然の家」・・・来場者が4～7月で846人(昨年は0人)と期待以上であった。また野菜等の販売は、知名度が徐々に上がってきていることから今年度の販売予算は達成できそうである。 2. 「e-bikeツアー」・・・4～8月はモニターツアーの内容、コース、時期、参加費、広報を検討。 ※9月のモニターツアーを計画したが、(株)あさひが猛暑の関係で9月までのツアーは会社として禁止されたとのことから、上期におけるモニターツアーを実施することが出来なかった。	

事業予算額	2,426 千円
うち市負担金額	1,940 千円 (市負担割合 80 %)

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	2,804 千円 (当初提案時の金額 : 2,830 千円)
令和7年度 市負担金希望額	1,940 千円 (当初提案時の金額 : 1,981 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政
事業の名称	「城山自然の家」を観光ゲートとした城山エリアでのe-bikeツアーの造成

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 1. 事業の課題に対する共通認識は、合意できており、自立化に向けて主体的に検討を進めている。 2. 進捗状況等を確認する場として、定期的な会議の場を設けていただいている。 3. 役割分担については前年度より一層、実施団体主導で進行している。 4. 事業進行のサポート・助言やe-bikeレンタル事業者との連絡窓口を市が主に担っている。 5. 猛暑によりモニターツアー実施の延期をせざるを得ず、自走化に向けたガイド養成講座を早期に行っている。				
B : 事業の評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 6. 一年を通して多様な観光資源をもつ城山エリアで快適に周遊できる二次交通手段のニーズは高く、またe-bikeは幅広い世代が利用可能なツールであることから、効果的な取り組みと期待されている。 7. 実施団体及び地域住民、地元大学などの多様な連携先の参画により、それぞれの立場から様々な意見が事業に反映されている。また、新規コースの作成についても、エリアをよく知る地域住民が主体で行うことで、交通量や安全面を考慮しつつも、見所のあるコースづくりを行っている。 8. 経費について、モニターツアーのひとつが延期となったものの、新規コースの下見や内部の実走研修の開催により適切な予算運用が行えている。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 9. 市との協働によって、公共施設の活用や事業への助言、PR及び情報発信への協力等が得られている。 10. 市民団体との協働によって、城山の観光資源の魅力の再発見や城山自然の家への活用につながっている。 11. 本事業の中で自治会や法政大学といった団体との協働により、多様な世代の交流を通じて、学生による				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 12. 事業を開始して2年目となり、事業や打合せなど協働を重ね、互いを知ることができている。 13. 目的を共有し、特に今年度は自走化に向けたガイド養成に取り組むことで合意している。 14. 自立化に向け、昨年市が支援的に担っていた作業を団体へ引継ぎ、整理しているところである。 15. 自ら率先して会議に参加される方が多く、地域の積極性を認識しており、前向きな姿勢を尊重している。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	地域だけでは困難な課題に対して、行政や地元団体と協働することにより課題解決へ繋がるコンテンツの作成や手法を実施することができている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	動画作成やSNSでの情報発信等、城山観光協会をはじめとする地域団体だけでは困難な事項について地元大学等と連携することで実施できており、協働の効果を感じている。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	・地域がe-bikeモニターツアーをしっかりと自分事として考えることができ、コース設定やコンテンツ内容等についても主体的に考え事業を進めることができている。事業者との連絡調整等を市が中心に行っている部分もあるが、自走化に向け明確に役割分担ができている。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <p>・地域住民による積極的な議論や取り組みを支援するため、市は情報収集や連絡調整を担い、円滑に事業を進められるよう努めている。</p>
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <p>e-bikeというコンテンツを利用した地域と行政の取組みに多くの方に興味を持ってもらい、地元の情報番組に取り上げていただいた。</p>
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <p>・e-bikeツアーを地域で自走化し継続的に実施するためには、ガイドをはじめとする多様な担い手の確保が必要であることから、地域住民や団体及び地元大学との協働により実施することが効果的であると考えます。 ・地元大学の協力によりPR動画の作成を行うことができた。今後は効果的なSNSでの情報発信等も地域と地元団体で協働で行っていく。</p>
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>今年度はガイド養成講座を行い地元でツアーガイドを行うことができるようにしたことで自走化に向け大きく前進することができたと考えています。今後2回のモニターツアーにおいて地元ガイドをメインにツアーを実施予定ですが、実際にガイドを行うことで見えてくる課題等があると思いますので、次年度はその課題を解決しつつ、地域での自走化に向けた最終準備をする一年とし、e-bikeをきっかけとして城山地区が持つ観光資源を知ってもらえるよう協力して頑張っていきたいと思います。よろしくお願ひします。</p>
その他	

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒			5		
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和5年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」					
団体の名称	特定非営利活動法人ここずっと					
事業担当課	地域包括ケア推進課					
事業の概要	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。					
事業の目的	残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。					
	『UDさがみはら』のvol.2及びvol.3の発行と配布。発行のための取材活動等を通じて、市民にユニバーサルデザイン(以下UDと表記)にかかわる関心・意識の向上を喚起し、UD実現につなげていく。 いわば「こころのUD」を根付かせることによって、まちづくりの場面における基礎的な意識醸成をはかる。					
令和6年度事業実施計画概要	今年度実施予定の事業内容は何か。					
	①『UDさがみはら』の7月11月3月の3回の発行 ②発行・配布のための編集・広報活動を通じて、UD実践者と出会い、連携し、そのつながりを広げる。 ③同様に、埋もれやすい障がい当事者の声を丁寧に聴きとり、市民と共有する。					
令和6年度の取組状況	この半年間で実施したことは何か。					
	①『UDさがみはら』vol.1の発行(事業者団体、当事者団体(れんきょう等)、市民活動団体(サポセン、社協関連市民団体等への事業説明宣伝/紙面を音声化する映像のyoutubeへのアップあわせて) ②社協南地域福祉交流ラウンジのふくしまつりにおけるUD提案と実践(ポスター作りとその音声コード化実現) ③MOVIX橋本における視覚障がい者との映画鑑賞会の実現。(音声ガイドを知ってもらおう) ④SNS発信による(9/30現在Xポスト99本、リポスト除く)UD意識啓発					
	残り半年間で実施する予定のことは何か。					
	①『UDさがみはら』vol.2, 3の発行・配布。そのための編集活動と事業者や市民活動団体への事業説明 ②実際にUD活用の凡例となるイベント企画・開催 ③他のUDを活用・実践している市民活動団体・事業者と連携した活動(イベント開催やスキル支援等) ④SNSを活用したUD意識啓発のための発信					
	9月末現在での事業達成度・・・(30)%程度					
成果をはかる指標(『UDさがみはら』発行回数、関連事業開催回数) 例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等						
事業予算額	940 千円					
うち市負担金額	797 千円 (市負担割合 85 %)					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	755 千円	(当初提案時の金額 : 940 千円)
令和7年度 市負担金希望額	608 千円	(当初提案時の金額 : 760 千円)
記入者区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 行政	
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」	

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。(意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。(役割分担の妥当性)(行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。(想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・「UDさがみはら」はまだ創刊号を出したのみで、事業の端緒に就いたばかりで評価の確答はできない。 ・意思疎通への努力はしていると確実に言えるが、情報管理と進行を共有していても、議論の全てをすべてを共有しているかと問われると、自信はない。現在、信頼関係の構築中である。 ・前述の意味合いにおいて、確答できない。				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・社会的要請や市民社会の機運としてUDについての情報は切に求められていると認識。ただそれゆえにUD知識・情報の偏りが市民・事業者に見られることが気になり(小・中学生の方が大人より知識がある) ・端緒に着手したばかりで、手探り状態。行政に対して、どのように求められるかも、わからないかもしれない。 ・予算内で実現しなければならない、という視点で考えている段階なので、予算の適正性に言及できない。				

C：協働したことの効果		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・「市民協働事業」として取り組んでいることを説明することで、UDIについて知らなくても正当性を受容してもらえる。導入についても「まず試してみよう」という姿勢になってもらえる。 ・MOVIX橋本での映画鑑賞会実現も協働しているという背景があればこそ、提案でき実現できた。 ・その意味で、もっとできることがありそう、という予感は大い。まだまだ可能性を残している。				
D：協働の関係性		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) ・事業の端緒の時点で、行政における手法と、市民活動における手法に流儀の違いが存在することを感じる。そのため、どこまで期待していいかという目途がわからない。もっとできるような気がすることもある。 ・むしろ行政側が「なぜ協働するか」について、明確な定点を据えてくれているので、原点への振り返りにおいて、チェック機能を果たしていてくれると実感している。				
E：自己評価		(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))			
		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。 ・NPO法人の活動範囲の中でUDIに取り組んでいるときは、事業の説明をしていてもひとり相撲とを感じる場面が多々あったが、市民協働事業になってからお墨付きをもらったように、耳を傾けてくれることを実感している。 ・事業に取り組んだおかげで、他の市民活動団体・事業者との出会いが広がったし、情報も増えた。それは、行政についても同様で、施策の細部まで目が届かなかったところが開けた。そのことで評価も変わった。 ・情報が増えることで、自分たちの発想が豊かになったことを実感している。もっと何かやれそう!、と。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思えますか。 ・UDIは、近年特に意識されてきた社会課題であり、協働によってより迅速に変革できていく課題と考える。成人(特に高齢者)にとっては、新しすぎてとっつきにくく、本来まちづくりの基本思想であるのに、共有することが難しかった課題と言えるだけに協働の実用性がある。 ・UDの特徴として、障がいを感じていない人にとっては、気づかない側面がある。自分たちもその恩恵に浴しているにも関わらず、気づかないことで必要性を実感しにくい。そこに啓発の困難があるともいえる。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものになってると思いますか。(互いの経費負担も含む) ・適切かどうかの判断がしがたい。行政がどのようなものかが理解できていないためだと思われる。行政に「こうしてほしい」と思っても、それがお願いできることなのか、できないことなのか、当方では判断できない。見るからに多忙な行政マンにその必然性のレベルを押し量って投げかけることそのものに躊躇してしまう。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>

F：その他（以下は必要に応じてお書きください。）

19	<p>事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none">・印刷業者をこれまでお願いしていたところから、音声コードの切り欠きを仕様対応する業者に変更し予算軽減。（このための情報は、相模原市印刷広告協同組合の荒井慶太氏より提供いただいた）・youtubeアップのための動画編集を外部依頼せず、自分たちのスキル内で実施。予算軽減した。・メール便の廃止に伴い、送付対象を市内高等学校に絞って送付。できる限りの手渡し配布を目指した。
20	<p>実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none">・タウンニュース社から取材を受け、南区版に記事掲載。特に音声コードとその位置を知らせる「切り欠き」について紹介となる記事を掲載していただけた。・自治会の班長さんまで配布してもらえないか、と自治会長にある方から希望を伝えられた。・音声による記事紹介の動画をyoutubeにアップしたことを、相模原市視覚障害者協会のメーリングリストで紹介したところ、晴眼者の市民にも伝わって、どこで本紙を手にするのか、と問合せをいただいた。・視覚障がい者の映画鑑賞会を開催したところ、橋本在住の視覚障がい者のご夫婦から、「MOVIX橋本の近所に住んでいるけれど、初めてこの建物に入った」と言われた。視覚障がい者の生活環境への制限を少しでも緩和できたと思いき感激した。
21	<p>事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none">・MUDを推進している(株)日相印刷の荒井慶太氏との知己を得て、印刷関係だけでなく動画撮影における撮影における情報提供を得た。・相模原市視覚障がい者協会に呼びかけ、MOVIX橋本にて、映画鑑賞会を実施。今後も継続的に取り組む契機を得た。・社協の南地域福祉交流ラウンジの「ふくしまつり」開催において、ポスター作成時におけるUD活用手引き説明を行いその展示における音声コード表示を実現。開会式におけるUDトーク活用のオンタイム字幕表示、暮らしの中にあるUD啓発などをあわせて行うことができた。
22	<p>次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。</p> <p>基本的に「行政とは何か」という理解にこれまで欠けていたと省みております。その認識を深め、互いの役割をさらに見極めて信頼関係を構築していきたいと考えております。</p>
その他	<p>内部から「こんなに詳細に行政と連絡を取らなくてはならないのか？」「協働なのだから対等であって指示関係になるのはおかしい」という声があがったのは正直なところですが、それは「行政とは何か」ということについての認識・考察を刷新していくことと関連して乗り越えていけると考えています。</p> <p>仮に行政的手法と市民活動的手法というものがあれば（例えば、行政にとっての市民は対象なのですが、市民活動にとっては、市民は仲間、相棒であります。行政と市民との関係は公平性を担保する統一的対応が必要ですが、市民活動にとっては市民との間で起きてくる流動性、運動性が必要です）、その手法の違いが有機的につながって、行政だけではできない、市民活動だけではできない変化を呼び起こすことが「市民協働」の意義と考えるところです。しかし、現実的に、市民（住民）に伝える、と言ってもその内容に違いが生じるのは当然で（言葉の意味するものが違うのですから）、その歩み寄りを「信頼関係の構築」と呼ぶなら、実感として、まだまだ、と評価するところですが。</p> <p>互いの手法や立場にこだわらず、連携を果たして、行政の展開としても、市民活動の展開としても刷新できたら理想ではないか、と思うところですが。</p>

協働事業提案制度事業 中間ヒアリング調書

整理番号	右のリストから番号を入力してください ⇒	5				
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政	市民提案型	令和5年度採択	今年度が	1	年目
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」					
団体の名称	特定非営利活動法人ここずっと					
事業担当課	地域包括ケア推進課					
事業の概要	積極的な取材・調査によって「ユニバーサル通信」における事例・情報紹介の紙面を豊かにし、発行頻度を増やし、配布対象を官民・市民に拡大して、市民のUD理解を深めて、共生社会の礎となる意識形成に資する。					
事業の目的	<p>残りの実施期間の中で目指していることは何ですか。</p> <p>「UDさがみはら」のvol.2～3の発行と配布を通じて、民間企業や団体を含めた市民へユニバーサルデザインの普及、促進を図るもの。</p>					
令和6年度事業実施計画概要	<p>今年度実施予定の事業内容は何ですか。</p> <p>UDさがみはらVOL.1～3の発行 市HPへの掲載 行政機関等への「UDさがみはら」の配布</p>					
令和6年度の取組状況	<p>この半年間で実施したことは何ですか。</p> <p>UDさがみはらVOL.1の発行、市のHPへの掲載 市役所窓口等への配架と市内調整 取材先への事前調整</p>					
	<p>残り半年間で実施する予定のことは何ですか。</p> <p>UDさがみはらVOL.2、3の発行 行政配布先への配架 取材先との事前調整</p>					
	<p>9月末現在での事業達成度・・・（ 30 ）%程度</p> <p>成果をはかる指標（ 「UDさがみはら」の発行回数 ）</p> <p>例 事業開催回数、参加者数、実態調査、満足度調査等</p>					
事業予算額	940 千円					
うち市負担金額	797 千円 （市負担割合 85 % ）					

令和7年度の事業継続を 希望します 希望しません

令和7年度 事業予算額	757 千円	(当初提案時の金額 :	940 千円)
令和7年度 市負担金希望額	608 千円	(当初提案時の金額 :	760 千円)
記入者区分	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 行政		
事業の名称	「ユニバーサルデザイン普及・啓発事業」		

次のA～Fの21項目について、ご記入ください。

A : 取り組みの状況 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
1	協働事業の実施にあたり、解決すべき課題や事業の目的、事業の実施内容、役割分担等について、十分確認し、合意できていると思いますか。(共通認識)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	事業の進捗状況等を確認する機会を持つことができますか。 (意思疎通：情報交換・進行管理・危機管理・予算管理)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	実施団体(提案団体)は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (実施団体：自己評価、行政：実施団体に対する評価)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	行政は、取り決めた役割を十分に果たしていると思いますか。 (役割分担の妥当性) (行政：自己評価、実施団体：行政に対する評価)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	現段階で、事業は計画通りに進んでいると思いますか。 (想定外のことはないか：計画の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 取材やNPOの取組(共同提案事業に関わる)についての情報共有が円滑ではないと感じることもある。 適時における打合せの実施や回数を増やす等、随時に状況共有を図る必要がある。				
B : 事業の評価 <i>(a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、 c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))</i>		はい		いいえ	
6	取り組んでいる事業は、市民ニーズや社会的要請を的確に捉えたものだったと思いますか。(課題・ニーズ分析の適切さ、事業の妥当性)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	取り組んでいる事業は、市民団体、行政双方の特性が十分活かされたものになっていると思いますか。(主体性・特性の発揮)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	実際に事業に着手してみて、経費は事業内容に見合った適切なものだったと思いますか。(予算の適切さ)	a	b	c	d
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 本来、市民や民間企業等行政以外へのアプローチが必要なはずが、創刊号については行政中心の配布になっているため、民間企業や団体への周知方法について再検討が必要である。				

C : 協働したことの効果 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
9	協働したことによって、団体組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(実施団体にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
10	協働したことによって、行政組織にとって、期待したメリットが得られていると思いますか。(行政にとっての満足度) ※協働の相手方の満足度も予想で記入	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
11	協働したことによって、想定する成果(効果)を上げることができていると思いますか。(単独で取り組んだ場合との比較、目標達成度・受益者の満足度)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 創刊号を出し、ユニバーサルデザインに興味をもった企業もあるため、より内容を充実させ普及促進を進めたい。				
D : 協働の関係性 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
12	相互理解：互いの立場の違いや特性を認め合い、事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
13	目的共有：協働することの意義を明確にし、互いがその目的を共有して事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
14	役割合意：互いの役割分担について理解し、自らの役割を自覚して効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
15	対等な協力関係：対等な立場で協力し、効果的に事業に取り組むことができたと思いますか。	a <input checked="" type="checkbox"/>	b <input type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
自由意見	(以上の項目について、ご回答の理由などの補足事項がありましたらお書きください。) 本事業提案時に協議した目的や目指すべき成果を双方が共有しながら実施内容や方法を協議する必要がある。				
E : 自己評価 (a=肯定(はい)、b=どちらかと言えば肯定、c=どちらかと言えば否定、d=否定(いいえ))		はい			いいえ
16	事業の必要性：事業をやった良かったと思いますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	行政で発行していたUD通信ではできていなかった、ユニバーサルデザインに携わる市民のUDの具体的な取組み考え方を掲載することにより、市民へのユニバーサルデザインを普及啓発を開始できたと感じている。				
17	協働の必要性：協働しなければ的確な効果・成果を上げることのできない事業だと思えますか。	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	ユニバーサルデザインは「誰もが使いやすい」という範囲の広いものであり、一般的に気づかれにくい。行政がユニバーサルデザインを積極的に取りあげ、民間団体である協働事業先が普及活動することにより、UDへの具体的な取組を身近に感じていただくなどの効果が期待される。				
18	役割分担の妥当性：事業の妥当性や協働の必要性を勘案し、役割分担は適切なものとなっていると思いますか。(互いの経費負担も含む)	a <input type="checkbox"/>	b <input checked="" type="checkbox"/>	c <input type="checkbox"/>	d <input type="checkbox"/>
	事業の目的を踏まえた効果的な周知啓発となるよう、行政のもつ配布方法などの手法を活用するとともに、行政が取材先との調整に関わることにより、円滑な実施に繋がっている。また、一方では行政が発信する情報として、その内容に関する公共性を担保しながら協働事業者と協議を進めている。				

F : その他 (以下は必要に応じてお書きください。)

19

事業を実施する上で工夫したことがあればお書きください。

20

実施した事業に関し、事業関係者以外の方から受けた感想や評価などがあればお書きください。

21

事業を実施したことにより、新たな広がりにつながったこと（つなげたいこと）があればお書きください。

事業実施の中で取材先など協働事業者以外の市民や団体について、今後、市の事業やイベントへの参画についても検討していきたい。

22

次年度の事業をより良くするため、協働相手にメッセージがあればお書きください。

お互いの目的を共有し、より良い事業効果を発揮できるよう、引き続き緊密な連携をお願いいたします。

その他

審査会採点および意見

事業の 有効性	事業は地域や市民のニーズを的確に捉え、市民が抱える公共的課題に応じているか。	
	/ 5	コメント
協働の 必要性	単独よりも協働して取り組むことで、より高い効果・成果を得られているか。	
	/ 5	コメント
役割 分担の 妥当性	協働の関係性や役割分担は適切か。	
	/ 5	コメント
経費の 妥当性	事業の必要性、協働の必要性等を勘案し、事業経費や負担割合は適切なものであるか。	
	/ 5	コメント
継続の 妥当性	課題解決のために協働事業提案制度において継続することが妥当か。	
	/ 5	コメント
合計	/ 25	

普通＝3点を
基準として採点

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

協働事業提案制度審査作業部会 委員名簿

No.	氏名	構成員名	現職
1	いしかわ ますみこ 石川 壽々子	相模原市市民協働 推進審議会委員	社会福祉法人 相模原市社会福祉協議会 理事
2	ふじた きよし 藤田 潔	アドバイザー	コンサルティングオフィス KT 中小企業診断士
3	ながさわ けいこ 長澤 敬子	相模原市市民協働 推進審議会委員	相模原市公民館連絡協議会 副会長
4	ひらやま やすのぶ 平山 易申	アドバイザー	西武信用金庫橋本支店 支店長
5	やまぎし えみり 山岸 絵美理	相模原市市民協働 推進審議会委員	大月市立大月短期大学 経済科 准教授